



私は、おはなしのろうそくに
火をともすマッチです。
この箱が、さまでまな壯を放つ
マッチでいっぱいになるように。
心をこめて送ります。

1月のストーリーテリング勉強会

2013年1月9日(水) 午前9:30~12:00

主催:高知県立図書館 参加者:9人

次回の勉強会は
2月13日(水)

9:30~12:00 です

場所:当館3階大会議室

今月のおはなし

1. 牛方とやまんば 7分

『おはなしのろうそく8』(東京子ども図書館／編・発行)より

【語り手から】途中で真っ白になってしまったので、もっと練習して、なめらかにお話を伝えたいと思いました。

2. 三びきの子ブタ 10分

『イギリスとアイルランドの昔話』(石井桃子／編・訳 福音館書店)より

【語り手から】5才位から2年生位までの子は、とてもよく聞きます。子ブタの身になって、まっすぐストーリーの展開についていくからでしょう。アニメや絵本でこの物語を知っている子も多いですが、シンプルで迫力があるおはなしは、くっきりした印象を残すようです。

3. ひなどりとネコ 7分

『子どもに聞かせる世界の民話』(矢崎源九郎／編 実業之日本社)より

【語り手から】本日の課題を、小学校で活かせるように努力してみます。

4. とうさんおくつをかいました(手遊び)

『かあさんねずみがおかゆをつくった』(ヘレナ・ズマトリーコバー／え いでひろこ／やく 福音館書店)より

5. ドシュマンとドゥースト 14分

『アジアの昔話1』(松岡享子／訳 福音館書店)より

【語り手から】この話はずいぶん前におぼえたので、語るときの緊張感が薄れています。話が上すべりにならないように気をつけたいです。

6. 年輪(詩) 5分

『詩集星を動かす少女』(松田明三郎／著 福永書店)より

【語り手から】私の誕生日に聴いていただく予定です。

7. 牛方とやまんば 6~7分

『おはなしのろうそく8』(東京子ども図書館／編・発行)より

【語り手から】幼稚園の年長児から「恐いお話を聞きたい」とのリクエストがあったので覚えた。やまんばの恐さとまぬけさがおもしろかった。細かいところがうまくいかなかった。もう少し練習しなければ・・・

8. かちかち山 15分

『子どもに語る日本の昔話3』(稻田和子、筒井悦子／共著 こぐま社)より

【語り手から】「こどもを寝かしつけるおばあちゃんの昔語りの様だ」という声を聞いて嬉しかったです。偶然ですが、保育所で2回ほど、子どもの背中をトントンしながら語る機会がありました。語り手の体験や気持ちの変化で“おはなしが変わる”。本当に、おはなしはおもしろいなあと思いました。